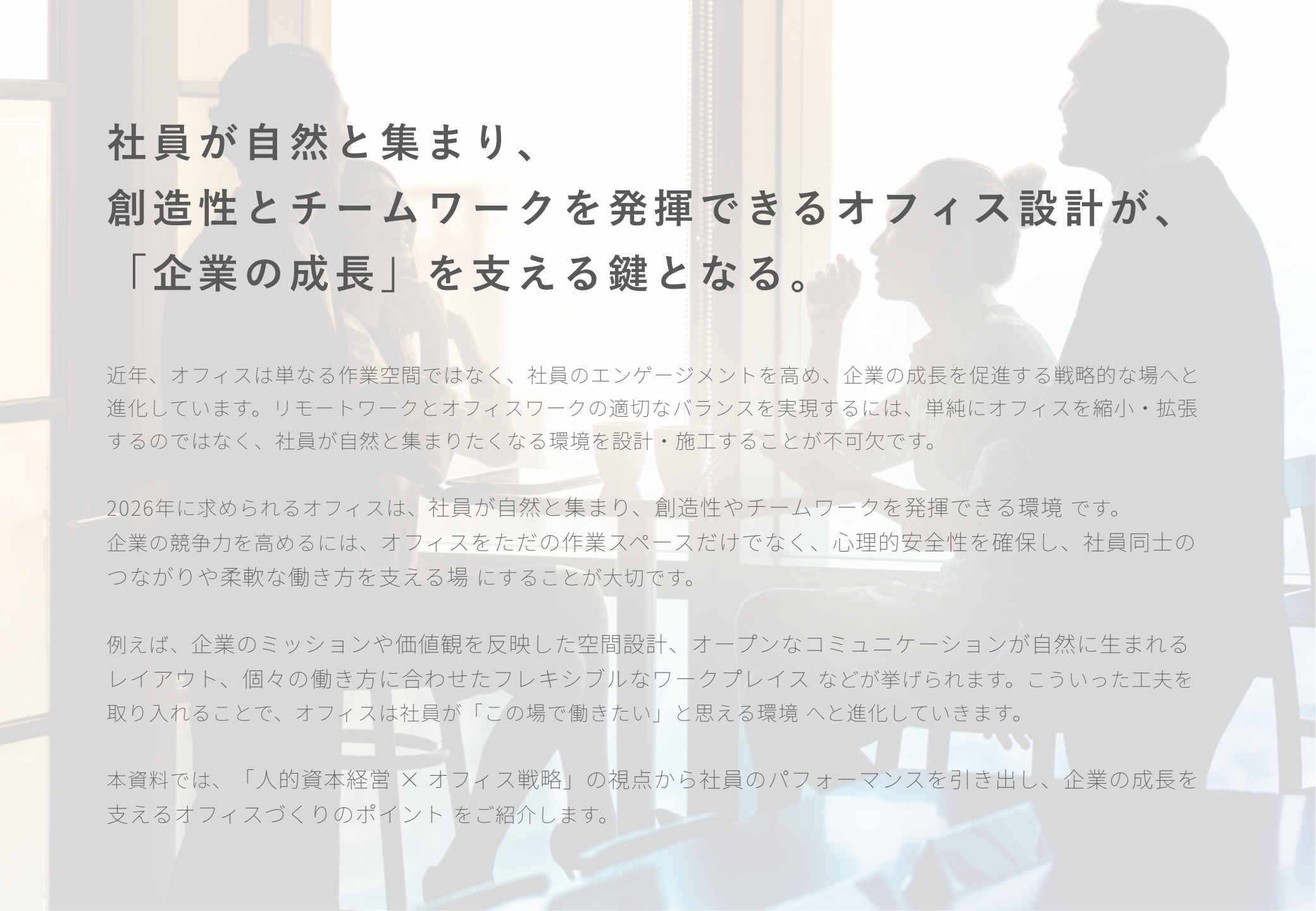


オフィス移転・レイアウト変更をご検討中の企業向け

働く場所はどう変わる？ 2026年のオフィス最適化戦略



GOOD PLACE

The background of the page features a soft-focus, high-key photograph of several people in an office environment. In the foreground, the silhouettes of three individuals are visible against a bright, window-lit background. One person is seated on the left, another is in the center looking towards the right, and a third person is standing on the right side, looking towards the center. The overall atmosphere is professional and collaborative.

社員が自然と集まり、 創造性とチームワークを発揮できるオフィス設計が、 「企業の成長」を支える鍵となる。

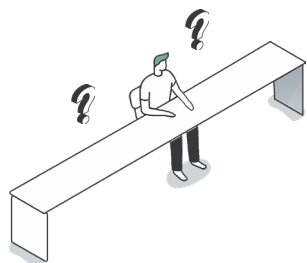
近年、オフィスは単なる作業空間ではなく、社員のエンゲージメントを高め、企業の成長を促進する戦略的な場へと進化しています。リモートワークとオフィスワークの適切なバランスを実現するには、単純にオフィスを縮小・拡張するのではなく、社員が自然と集まりたくなる環境を設計・施工することが不可欠です。

2026年に求められるオフィスは、社員が自然と集まり、創造性やチームワークを発揮できる環境です。企業の競争力を高めるには、オフィスをただの作業スペースだけでなく、心理的安全性を確保し、社員同士のつながりや柔軟な働き方を支える場 にすることが大切です。

例えば、企業のミッションや価値観を反映した空間設計、オープンなコミュニケーションが自然に生まれるレイアウト、個々の働き方に合わせたフレキシブルなワークプレイス などが挙げられます。こういった工夫を取り入れることで、オフィスは社員が「この場で働きたい」と思える環境 へと進化していきます。

本資料では、「人的資本経営 × オフィス戦略」の視点から社員のパフォーマンスを引き出し、企業の成長を支えるオフィスづくりのポイント をご紹介します。

オフィスの役割が再定義されています。オフィスは企業文化形成と社員のパフォーマンス向上の場へ進化し、快適性と生産性を両立するワークプレイス設計が重要になります。



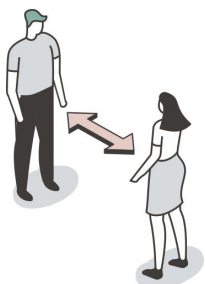
オフィスの適正面積って？

オフィスの床面積は、企業ごとの最適化が必要です。フレキシブルワークスペースの導入が鍵です。



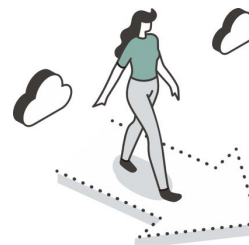
共創を促す環境づくり

オフィスの役割は、偶発的な出会いを生む場へ。共創スペースの活用が重要となります。



ウェルビーイング

- ・心理的安全性の確保
- ・Well-beingオフィス

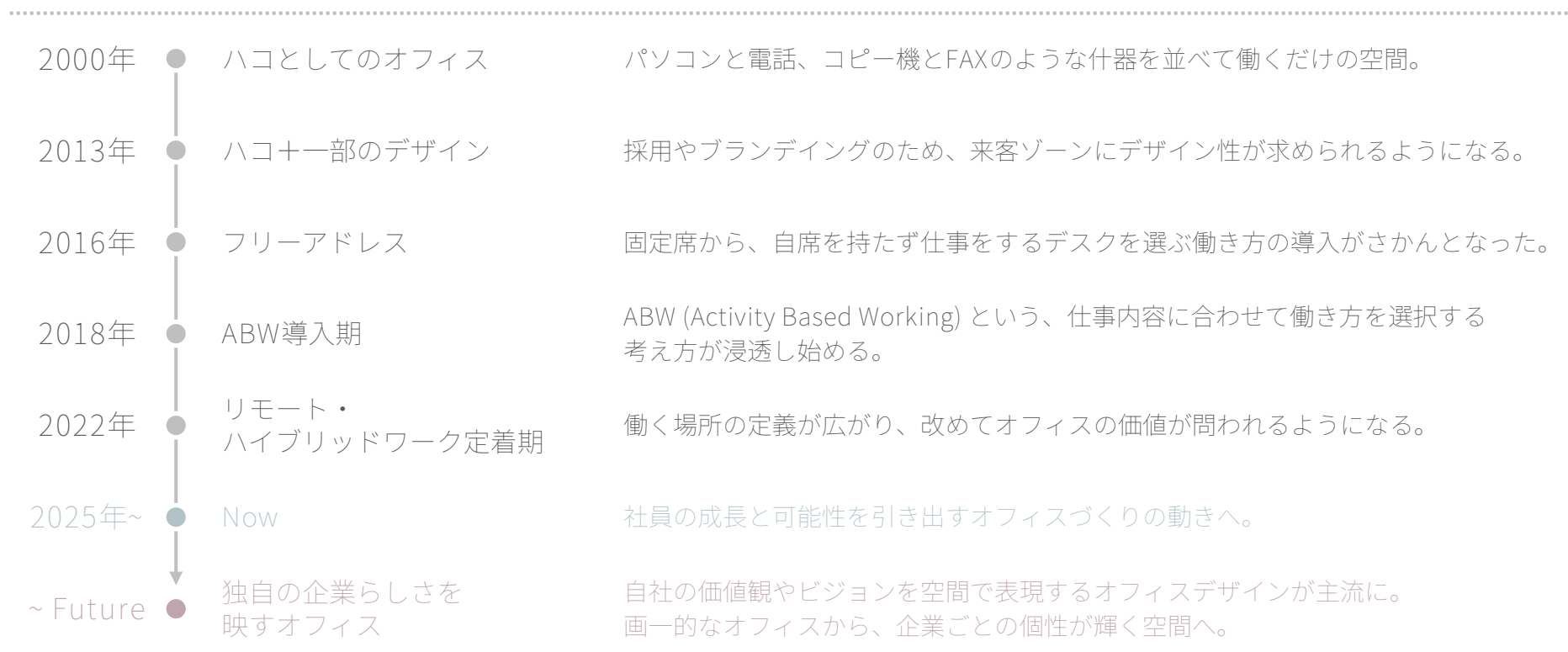


出社したくなるオフィス

出社の価値を高める設計が重要です。オープンスペース・コラボレーションエリアを活用しましょう。

これらを解決するために、自社の状況に合わせた **オフィスの最適化** が必要です。

オフィスは働く場を超え、ABW最適化や共創スペース活用など心理的快適性を重視し、社員が集まり創造性を発揮できる空間へ進化しています。



オフィスは単なる働く場ではなく、社員のエンゲージメントを高め、企業の成長を支える空間へと進化しています。

働きやすいオフィスは、どのようなものだと感じますか？

今のオフィス環境を振り返り、どのような課題があるのかを整理してみましょう。



現状

オンライン会議が増え会議室が不足している

オフィスに人が集まらずコミュニケーション減少

採用力を強化するため、
オフィスをブランディングの一環として活用したい

出社が進む中で、
オフィスの使い方が定まらず非効率になっている



変更例

オンラインブース・フオンブース設置

集中エリアに防音ブースや小規模会議室を増設。オープンエリアにもオンライン対応スペースを設け、リモートワークと併用をスムーズに。

偶発的な対話が生まれる場の設計

オフィスに行く理由づくりに、カフェ風スペースやラウンジ導入。オープンスペースと個別ブースのバランス調整し、集まりやすい環境に。

企業文化を体現する設計

オフィスに企業のビジョンを表現するアート・コンセプトスペースを設置し、来訪者に「この会社で働きたい」と感じさせるデザインを導入。

ABW導入＋エリアごとの役割設定

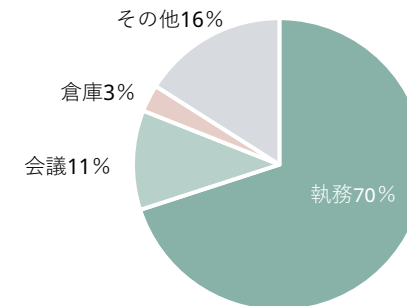
目的に応じ働く場所を選べるよう「集中エリア」「コラボレーションエリア」「リラクゼーションスペース」などゾーニングを明確化して使い勝手を向上させる。

オフィスの現状把握や見直しを行うために、GOOD PLACEでは、次のような4つの調査を行っています。

01 現状調査 無駄なスペースや足りないスペースを可視化

調査内容：
契約面積、座席数、1席あたりの面積、収納数、収納量、
各スペースごとの面積（ワークスペース、会議室、倉庫、休憩室等）

調査例：各スペースごとの面積割合



02 在籍率・使用率の調査 実際の稼働率を確認

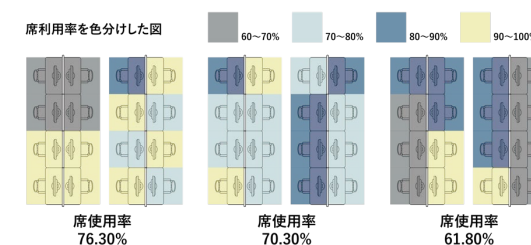
執務室の在籍率調査

調査内容：
各座席ごとの使用率、部署や島ごとの使用率等

会議室の使用率調査

調査内容：
全体の稼働率、座席の使用率、曜日・時間帯別の稼働率等

調査例：執務室の座席使用率の色分け



①②の調査を通して**実際の稼働率を把握した上で、最適な会議室の数、座席数に合わせたレイアウト案をご提案**します。実稼働に合わせた坪数や使いやすいレイアウトにすることで、**固定費の削減や業務効率化**につながります。

03 ブレストワークショップ 「こんなオフィスにしたい」を探る

実施内容：

- ・インタビュー
- ・アンケート
- ・他社オフィス見学

新しいオフィスのキャッチフレーズや行動指針を考え、意識・方向性を合わせます。

現状の活動範囲や悩みを把握することで、新しいオフィスをどのように自分たちのモノにするのかを考えます。

調査例



オフィス環境に関するアンケート



ワークスタイルに関するアンケート



経営者向けのインタビュー

04 デザイン提案 調査やブレスト結果を実際の空間設計に生かす

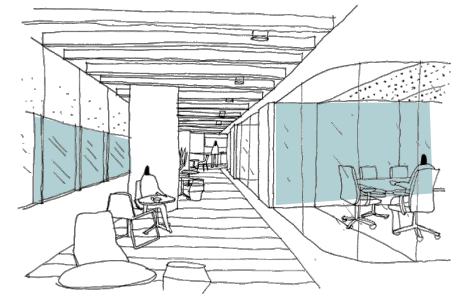
実施内容：

- ・従業員に対しての確認、修正
- ・実際の空間に落とし込んだイメージの作成

①～③で行った調査内容をまとめ、実際のオフィスにイメージを落とし込んで

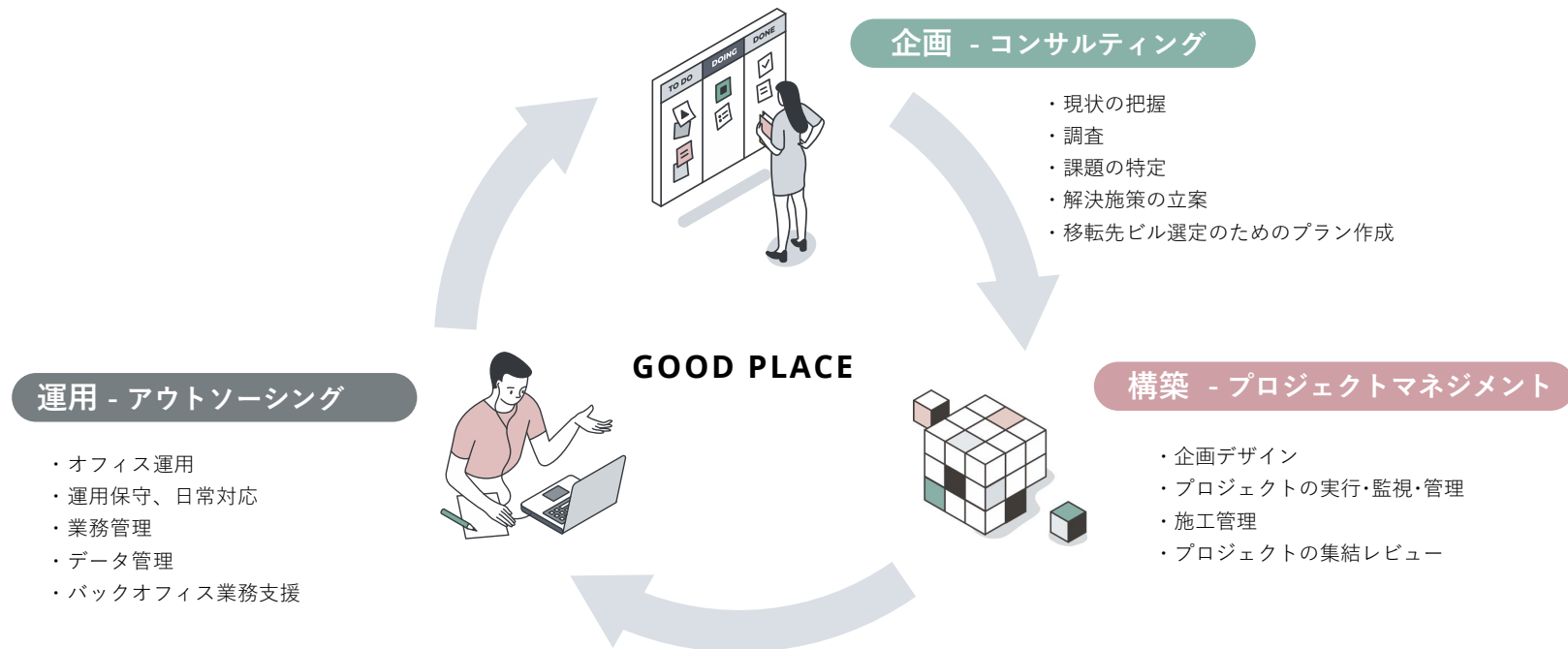
デザインします。これらの調査を行うことで、**機能性とデザイン性を両立したオフィスを実現**できます。

提案イメージ例



調査をしてからデザインを行うことで、戦略的なワークプレイスが実現できます。

GOOD PLACEでは、これらの調査を行ったうえで、オフィスのレイアウト変更や移転など、最適なオフィスづくりの提案をしています。GOOD PLACEでは下記のどのフェーズからでも対応可能です。現在の働き方・今後のオフィスの考え方について、ぜひご相談ください。



← お問い合わせはこちら

株式会社GOOD PLACE (旧株式会社コスモスモア)
東京都渋谷区東3-14-20 ニューホライズンエビス

プロジェクト マネジメント

要件に基づき最適なオフィスの機能、意匠をデザイン。豊富な経験や実績から、明確で詳細なタスク・コスト管理・徹底したスケジュール管理によるリスクの洗い出しなど、安定したプロジェクト運営を提供します。

コンストラクション マネジメント

有資格者による豊富なノウハウを基に、デザインを忠実に再現する施工品質担保、B工事会社をはじめとした工事関係者との調整業務・工期調整を行い高い品質を実現します。

ソリューション

オフィスに求められている機能の言語化を行い、要件定義の支援業務を行います。ファシリティデータ分析などの数量整理や、アンケート実施など、多角的な視点でロジカルにオフィス機能を言語化します。

オペレーション サポート

アウトソーシング事業にて培った知識や経験を基に、移転作業時のバックオフィスご担当者様の業務支援や、完工後の運用提案などの対応を実施。また日々の中で生じる不具合や追加対応も専門チームが迅速に対応します。

